

地質ニュース

5 月 第 165 号 1968

解 説	えびの地震予察調査速報(その1)……………福田 理…1
	昭和43年度事業計画……………研究企画官…16
トピックス	75周年を迎えた日本地質学会……………徳水 永重 元行…20
	ポーフイリーカッパー鉱床 ③……………石原 舜三…22
講 座	水井戸の話 ② 水争い……………村下 敏夫…32
海外事情	トルコ地質調査所MTAの紹介……………井上 英二…34
	アラビア半島の生い立ち……………小村 幸二郎…46
	南太平洋見聞記 ④オーストラリア連邦地質調査所……………沢田 秀穂…54
	学会掲示板……………45
	地学と切手……………堀内 恵彦…63

編集 地質調査所

表紙の写真

発行 株式会社 実業公報社

砂岩と斜層理 (能登路 9)

七尾付近に赤浦砂岩層と呼ばれるアルコーズ質砂岩が広く分布している。丘陵地末端の崖のあちこちに黄褐色の露頭をなしているのがそれである。これは非常に粗しう軟弱であり、鍬で簡単に切りくずされるため、盛んにバラス用に掘りとられている。固結度はきわめて弱い。これでもれっきとした第三紀層なのである。この砂岩層によくみられる現象が、地層の主層理面に対して斜めに発達する別の小層理で、これは斜層理といわれる堆積構造である。この斜層理の傾いた方向が地層堆積時の水流の向きを示すもので、写真では大部分が左から右に向っていたと推定される。このように水流作用そのものだけでなく、斜層理のあることは地層が沿岸流のある海岸、河口などに堆積した証拠であり、これらから地層の堆積環境を知る重要な手がかりの一つとされている。(盛谷智之)